

2015 大瓜生山祭各部署反省

春秋座

〔良かった点〕業者さん（音響、照明など）との連携がうまく取れた。観客が結構多く入った
チーム数が少なく、取りやめも考えていたが、何とか実施できた。ゲストへの反響がすごく良かった

〔悪かった点・改善点〕スタッフの人数がなかなか集まらず、運営が手いっぱいになっていた。期間に余裕を持たず、常に焦っていた。当初の予定からの変更が多く、変更点が元に戻るなど、参加チームに多大な迷惑をかけた。お弁当のケータリングでお茶の発注が出来ていなかった。（当日スタッフが別に仕事の間に買いに行った）補助金にミスがあった。

フードコロシウム

〔良かった点〕そこまで大きなトラブルなく前日準備を行う事ができた。当日、アクシデントなくチケット売り場等をこなせた。片づけをテキパキ行う事ができた。二年生が一年生を引っ張っていった。

署内の大半のメンバーが積極的に動いてくれた。フードコロシアムの活動を通して、各自が成長する事ができた。

〔悪かった点・改善点〕きちんと各自に仕事の配分ができていなかった。案内板や集計表を早いうちから作っていなかった。金券の集計人数をもう少し増やし、数え間違いが無いように確認を徹底する。各店舗との情報共有に加え、先生との間、部署内での情報共有ができていなかった。各自が何をすべきなのか把握していなかった。ビニール手袋の需要が予想以上に多かったため、置く場所を本部化フーコロのチケット売り場なのかはっきりさせた方がよかった。お客さんの列整理が少し甘かった。外国の方向けに英字で書いた情報があると尚よかった。

環境デザインの学生さんの過剰な客引きにより、金券販売所に迷惑がかかっていた（お客さんがスムーズに金券を購入できない）ので、対処が必要。

誰がどの部署の人なのかわかるように、部署ごとに腕章やネームカードで個人の所属を周囲に示すものが必要。列整理の看板や金券売り場の営業時間の看板が急遽の段ボールだった点。

ゴミ箱がすぐにいっぱいになるので、作業しやすいように金ばさみがあると助かった。

金券売り場の釣専用の小銭（10円玉・50円玉）がすぐに不足するのでもう少し用意がいる。

二回生が九割映画学科で、夏休みは映画学科さんはゼミの撮影等で大変忙しいため、ほとんど動く事ができず、リーダー交代があった。一つの学科で部署を固めるのはよくないということがわかった。（一回生はねぶたで忙しいので、特に二回生の編成には気を配るべきである）

お客さんにフードコロシアムの金券制について知れ渡っていなかった

ステージ

〔良かった点〕ステージサイズを調節したことで、会場内に出演者の控え室を用意することができ、出演者をうまくマネージメント、アテンドすることができた。Twitterでのオーディション募集は、学園祭前から盛り上がりが見えた。

〔悪かった点〕会場が目立たない場所にあるため、集客力率が悪く、装飾(看板など)宣伝方法の改善、もしくは会場の変更を検討するべき。

装飾

〔良かった点〕レンガシートを貼り「雰囲気良くなった」などの声を聞く事ができた装飾に注目し、写真を撮ってかれているひとがたくさんいた。SNSなどにも載せてもらっていた。

子供が大階段の風船をみて喜んでくれていた。ファンタジーに基づいた大がかりな装飾ができた。

〔悪かった点〕メンバーが一定化しがちで、常に人手不足感があった。（一回生のねぶたの時期が重なり、人手不足が生

じた→全員が参加できていたらもっといいものができていたと思う)

天候の事を考えてスケジュールリングができていなかった。

案内の蝶々など、ねらいがあった装飾がスタッフ内に浸透しておらず、機能していなかった。

メンバーの責任感がバラバラだった。(担当したエリアには責任を持って欲しかった。他の担当の人が他のエリアを担当するのは時間の無駄)

スタッフが当日イベントや会場を把握できていなかった。(→パンフレットを早い段階で配り、把握する時間を確保して欲しかった。)

一般企画

〔良かった点〕 店長会議は昨年三回行ったが今年は二回に減らす事ができた。第一回店長会議では情報量は多かったが決定事項が多かったためその後の段取りは組みやすく困ることはなかった。店長会議のメールだが展示と飲食については円滑だった。一般企画では保険部署、フードコロシアムとの連携が必要だったが保健部署との連携は上手くとれていた。

〔悪かった点〕 チラシ配りまでの時点でメンバーと情報を共有できていなかったためメンバーに多大な迷惑をかけることになってしまった。

企画書にメールアドレスを送るようにしていたが送らない企画者もいて連絡手段が電話のみの企画者もいた。

店長会議自体だが、プロジェクターとパソコンへつける変換ケーブルがなかったことにより開始時間を遅らせることになってしまった。それにより昼休み中に店長会議を終わらせることができなかった。

〔来年度へ向けて〕 一般企画の仕事内容だと第一回店長会議までは運営側もふんわりとしか内容を把握する事ができない。なるべく前年度のリーダー(副リーダー)だけでも一般企画の会議、またはリーダー会議など集まりには常に参加し情報を共有すると良い。前年度と照らし合わせをしながら仕事をこなすと円滑に仕事ができるだろう。

広報

〔良かった点〕 バクマン。や春秋座のゲストさん等の宣伝効果か、去年の1.5倍の来場者数でした。効果が見られたので、来年もゲストさんと呼ぶ場合は多少大きめに押した広報活動でも大丈夫。

学祭パンフレットの地図ページに写真を挿入。学生から一般来場者の方まで、わかりやすいと評判でした。あった方がわかりやすいと評判だったので、引き継いでほしい。

地域の方々から、リビング新聞や電車の中吊り、フライヤー等それを見て来たと、たくさんのお声をいただきました。効果あり。現状維持のまま引き継いでOK。

〔悪かった点・改善点〕 すべての作業において予定よりも遅くなっていた。(現状の把握がうまくできていなかったからだと考えられる) 手順を1から10まで把握し、流れで作業をすること。

作業人数の減少。危機感の無さや、パソコンが使えない・学科の作業が忙しい等による適応作業がなかったことが原因であると推測。パソコンが使える人の人員を希望。LINEの部署グループではメッセをすべて書き出し、随時更新。会議の際に全員確認したか確認。

LINEやTwitter等によるインターネットSNSでの情報交換。誤解や理解不足を招き二度手間でした。大事なことはできるだけ直接話し合う。ネットでの情報交換は基本NG。データの引き渡し、全体に向けた注意事項の時のみ可にするべき。